



まちを元気に

そして魅力的に

道路を身近に

そして魅力的に

歩いて楽しい道路みちづくりを目指して

展開編

第2章 みち 道路づかいのススメ

- ・歩いて楽しい道路づかい 12
- ・もっと楽しくするために 14
- ・にぎわいが生まれる道路づかい 16
- ・もっと魅力を高めるために 18

これまでの札幌での道路活用の取り組み …… (ふだんの道路づくり)

道路を活用し、魅力を高める取り組みは、実験的にこれまでも行われています。

札幌都心交通研究会 では、安心して楽しく歩けるストリートづくりをめざして、自転車の整理とともに、歩道脇

を花で飾るなど、魅力ある道路づくりに取り組んでいます。

また、狸小路でも地元商店街によって、休憩用のベンチの設置や、魅力を高めるための装飾など様々な空間活用が行われています。



自転車の整理をして歩道脇を花で飾る～南1条通



通りの飾りつけ～狸小路における道路活用

札幌都心交通研究会
とは

市民と行政が協働で魅力ある道路空間づくりとともに、めいわく駐車や荷さばきなど都心交通問題の解消に取り組んでいる組織。

シャワー通り

シャワー通りでも、これまで試験的に様々な道路空間活用が行われていません。

平成16年度は、周辺商業者と運送事業者の連携のもと、駐車車両の削減と荷さばき車の時間指定などの社会実験を実施し、歩きやすい空間の創出に取り組みました。



路上駐車車両の削減と空間活用～シャワー通り

道路活用を縁の下で支える 取り組み

札幌中心部商店街活性化協議会では、札幌市と協定を結び、アダプトプログラムとして、ごみ清掃や違法ヒラはがし、自転車の整理を行い、誰もが安全・安心に歩くことができる歩行空間づくりに取り組んでいます。



三番街商店街での自転車整理
～アダプトプログラム

道路活用というと、使うことばかりに視点が行きがちですが、活用を行うための空間を生み出すためには、さまざまな取り組みを行う必要があります。

そして、こうした活動で生み出された空間によって、歩いて楽しい道路づかいが可能となるのです。

札幌中心部商店街活性化協議会とは

都心部6商店街の連携による団体。札幌都心部をにぎわいに満ちたものにするため、独自の取り組みを進めている。

アダプトプログラムとは

市民と行政がともに協力して進める新しいまちづくりの美化プログラムなどのこと。

現在、札幌都心部の歩道上では自転車や看板が多く置かれているが、歩道上の駐輪は指定場所（路上駐輪場）以外では禁止されている。

自転車の整理や道路の清掃などのほか、道路をもっと楽しくするためには、街路樹のお世話や季節の装飾そして冬の砂まきなど、身近なところにできることがたくさんあります。

それらは一見地味に見えがちですが、道路活用を縁の下で支える大切なものです。

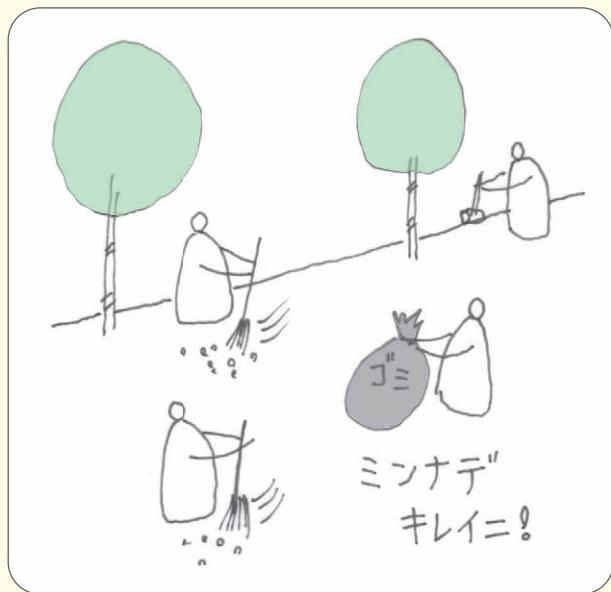
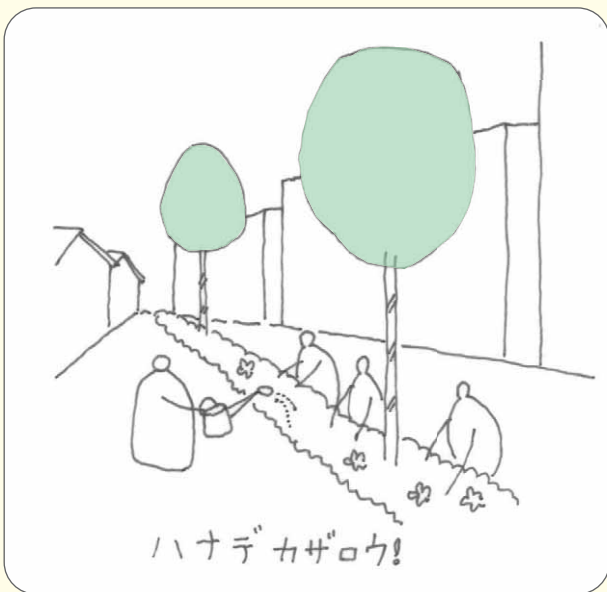
道路をきれいに掃除した後で、店先をイルミネーションで少しかわいらしく飾ってみたり・・・身近な取り組みを重ねるだけで、歩いて楽しい、心地よい道路が生まれます。

まずは身近なところから「道路の身づくろい」をはじめませんか。

オープンカフェも、そんな心地よい通りでできたらより多くの人を引き付けることでしょう。

沿道の緑のお世話

自転車の整理



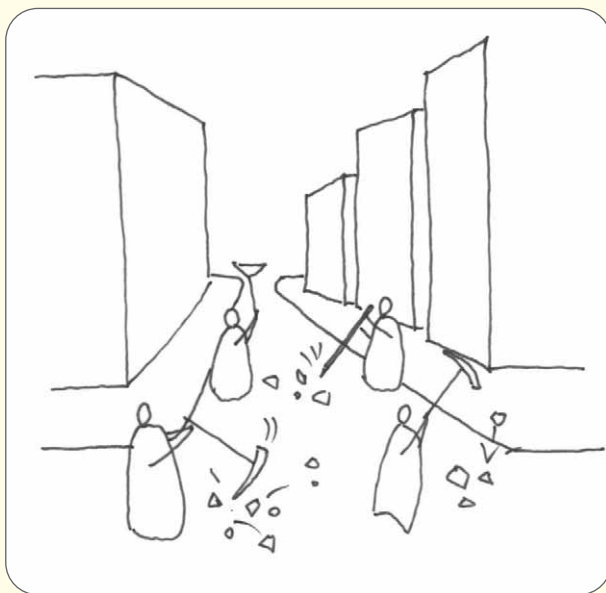
路上看板の整理

道路の清掃

冬の砂まき



七夕などの季節装飾



雪わり



冬のイルミネーション